

## 2. 主な指標項目ごとの状況 (3) 基盤の整備、施設整備

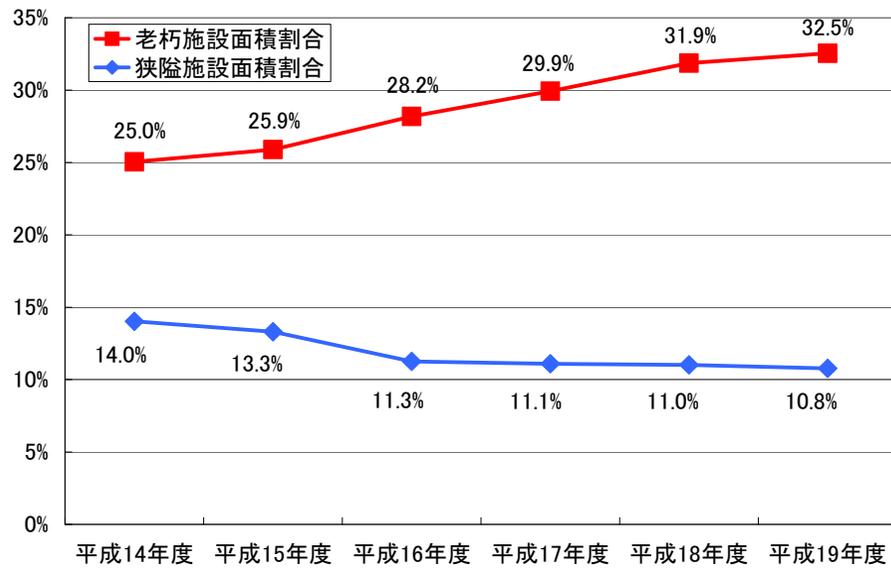
### ■ 老朽・狭隘施設解消対策に取り組むも、経年等により老朽施設の割合は増加

□ 平成18年度804万㎡(31.9%)→平成19年度828万㎡(32.5%)

### ■ ただし、狭隘施設は減少

□ 平成18年度312万㎡(11.0%)→平成19年度308万㎡(10.8%)

老朽・狭隘施設面積割合の推移



(出典) 文部科学省による

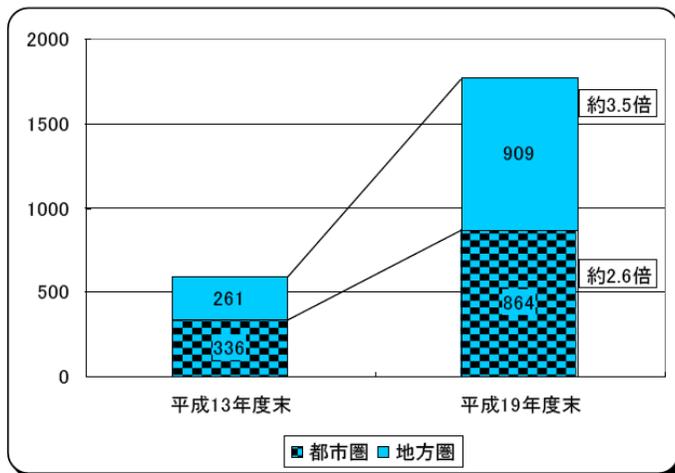
## 2. 主な指標項目ごとの状況 (4) 特色や特性を生かした国立大学の活動

- 人財育成や創造的・先端的な研究活動の裾野を広げることは重要であり、各地における国立大学の役割は大きい
  - 研究論文引用数の上位30大学(平成19年実績)をみると、三大都市圏の国立大学でシェア54%、その他の国立大学でシェア35%となっており、それぞれの国立大学が大きな役割を担っている。
  - 地方圏の大学では、大学発ベンチャーの設立が活発である。
  - 国立大学がおかれている状況によって、収益構造には差がある。

■ 研究論文引用数・上位30大学 (2007実績)

	国立大学		公立大学		私立大学	
	三大都市圏	その他の地域	三大都市圏	その他の地域	三大都市圏	その他の地域
大学数	9校	13校	3校	0校	5校	0校
論文引用数	486,059件	315,568件	35,683件	0件	62,556件	0件
引用数のシェア	54%	35%	4%	0%	7%	0%

(出典) 文部科学省による



都市圏: 東京都・千葉県・神奈川県・大阪府・京都府・兵庫県  
地方圏: 上記以外

### 都市圏、地方圏の大学発ベンチャー設立数

(出典) 経済産業省「平成19年度大学発ベンチャー基礎調査」

■ 国立大学法人の財務状況(平成19年度実績)

(単位:百万円)

	全国立大学法人				三大都市圏				その他の地域			
	H16	(一大学当り)	H19	(一大学当り)	H16	(一大学当り)	H19	(一大学当り)	H16	(一大学当り)	H19	(一大学当り)
運営費交付金収益	1,087,085	12,641	1,062,927	12,360	460,694	13,163	451,691	12,905	626,391	12,282	611,236	11,985
	( 46.4%)		( 42.0%)		( 49.4%)		( 44.0%)		( 44.5%)		( 40.6%)	
学生納付金収益	356,019	4,140	356,454	4,145	144,365	4,125	143,985	4,114	211,653	4,150	212,469	4,166
	( 15.2%)		( 14.1%)		( 15.5%)		( 14.0%)		( 15.0%)		( 14.1%)	
附属病院収益	624,530	7,262	709,851	8,254	184,690	5,277	215,280	6,151	439,840	8,624	494,571	9,697
	( 26.7%)		( 28.0%)		( 19.8%)		( 21.0%)		( 31.2%)		( 32.9%)	
外部資金収益	145,523	1,692	214,308	2,492	80,852	2,310	123,403	3,526	64,671	1,268	90,904	1,782
	( 6.2%)		( 8.5%)		( 8.7%)		( 12.0%)		( 4.6%)		( 6.0%)	
その他	128,129	1,490	188,613	2,193	62,804	1,794	92,775	2,651	65,324	1,281	95,838	1,879
	( 5.5%)		( 7.4%)		( 6.7%)		( 9.0%)		( 4.6%)		( 6.4%)	
経常収益	2,341,285	27,224	2,532,153	29,444	933,406	26,669	1,027,135	29,347	1,407,880	27,605	1,505,018	29,510
	( 100.0%)		( 100.0%)		( 100.0%)		( 100.0%)		( 100.0%)		( 100.0%)	

(注1) 単位未満四捨五入のため計は必ずしも一致しない。

(注2) 一大学あたりの収益は、比較可能性を確保するため平成19年度末の86法人で除して算出している。

(出典) 文部科学省による

■ 法人別財務状況(平成19年度)

(単位:百万円)

	東京大学		香川大学		静岡大学		福岡教育大学	
	H16	H19	H16	H19	H16	H19	H16	H19
運営費交付金収益	86,181	82,903	11,276	10,413	10,319	9,820	3,796	3,568
	( 48.7%)	( 42.5%)	( 39.7%)	( 36.8%)	( 55.4%)	( 51.8%)	( 64.9%)	( 60.4%)
学生納付金収益	16,190	16,637	4,119	3,900	6,461	6,323	1,977	23
	( 9.1%)	( 8.5%)	( 14.5%)	( 13.8%)	( 34.7%)	( 33.3%)	( 33.2%)	( 33.5%)
附属病院収益	29,957	35,324	10,862	11,717	0	0	0	0
	( 16.9%)	( 18.1%)	( 38.2%)	( 41.4%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)	( 0.0%)
外部資金収益	26,815	38,716	1,233	1,097	1,141	1,671	46	100
	( 15.1%)	( 19.8%)	( 4.3%)	( 3.9%)	( 6.1%)	( 8.8%)	( 0.0%)	( 1.7%)
その他	17,977	21,601	922	1,147	707	1,160	61	262
	( 10.1%)	( 11.1%)	( 3.2%)	( 4.1%)	( 3.8%)	( 6.1%)	( 1.0%)	( 4.4%)
経常収益	177,120	195,181	28,412	28,274	18,629	18,974	5,850	5,907
	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)	( 100.0%)

(注) 単位未満四捨五入のため計は必ずしも一致しない。

(出典) 文部科学省による

## 2. 主な指標項目ごとの状況 (5) 附属病院の運営状況について

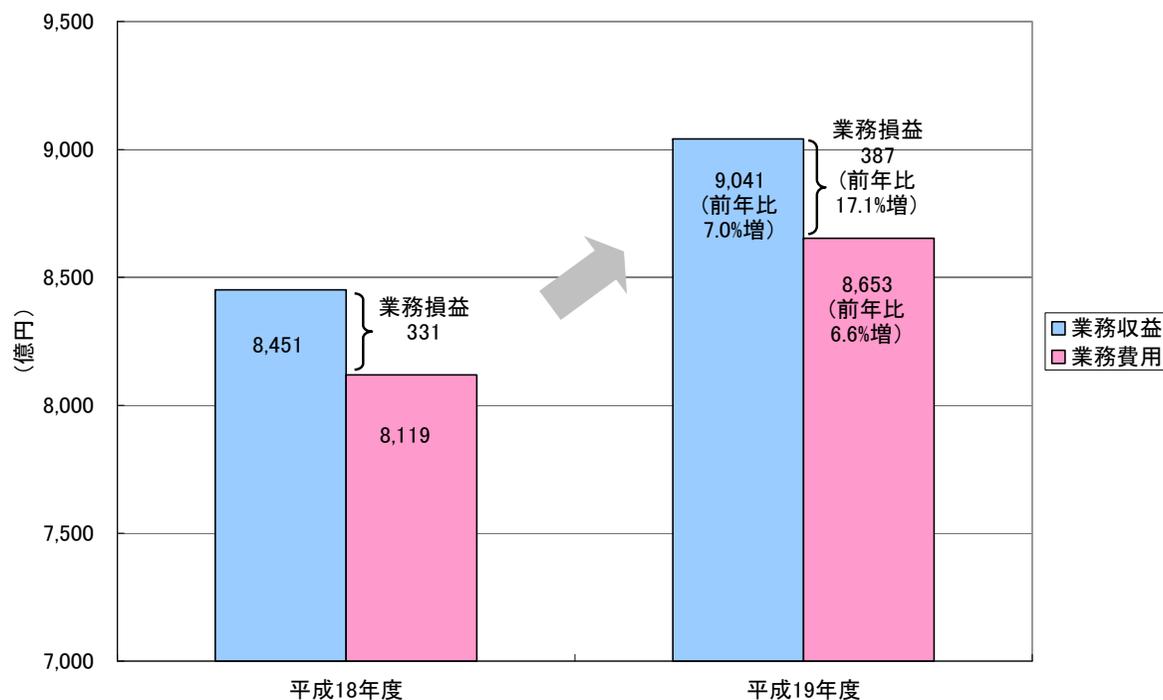
### ■ 業務損益は17.1%の増益

□ 平均在院日数の短縮、化学療法の充実等による外来患者の増加等による大幅な増収、及び、医薬品や診療材料等の在庫管理を徹底するなどの診療経費の節減等経営努力による。

### ■ 附属病院運営費交付金が逐年減額される中、実質赤字状態の病院が38%を占める

□ 42附属病院中6附属病院において業務欠損が発生。

□ 旧国立学校特別会計における長期借入金の償還を勘案した修正損益ベースでは、16附属病院が実質赤字状態。

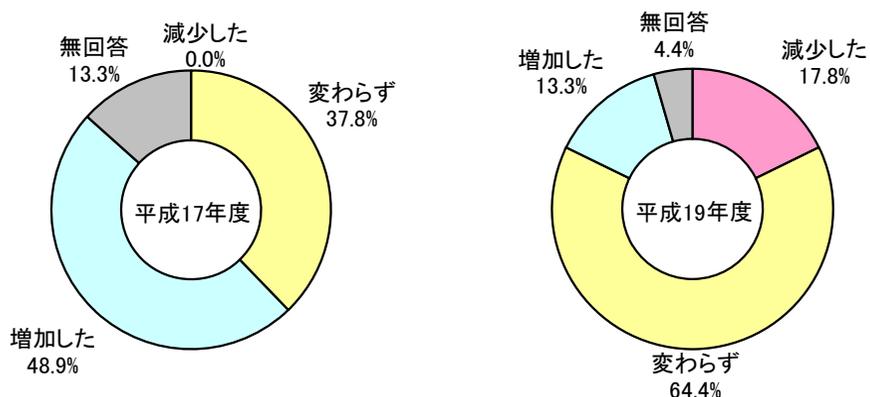


国立大学法人附属病院財務状況の推移

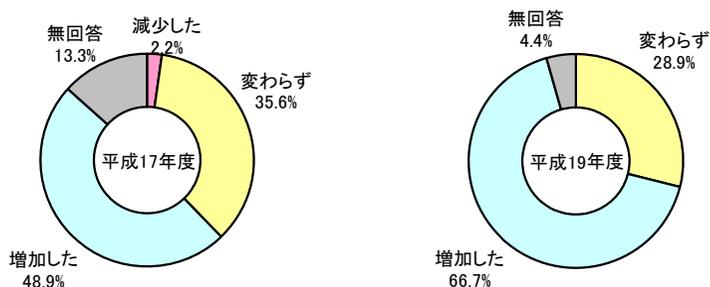
(出典) 文部科学省による

## 2. 主な指標項目ごとの状況 (6) 臨床研究について

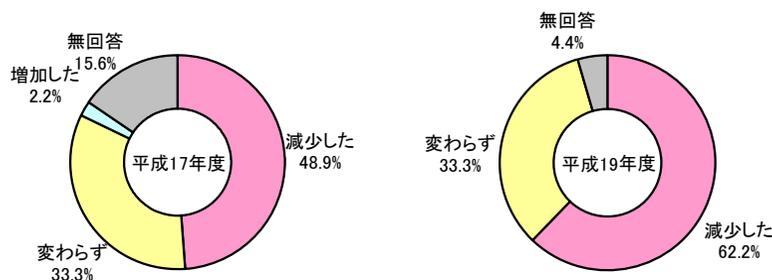
### 教育時間



### 診療時間

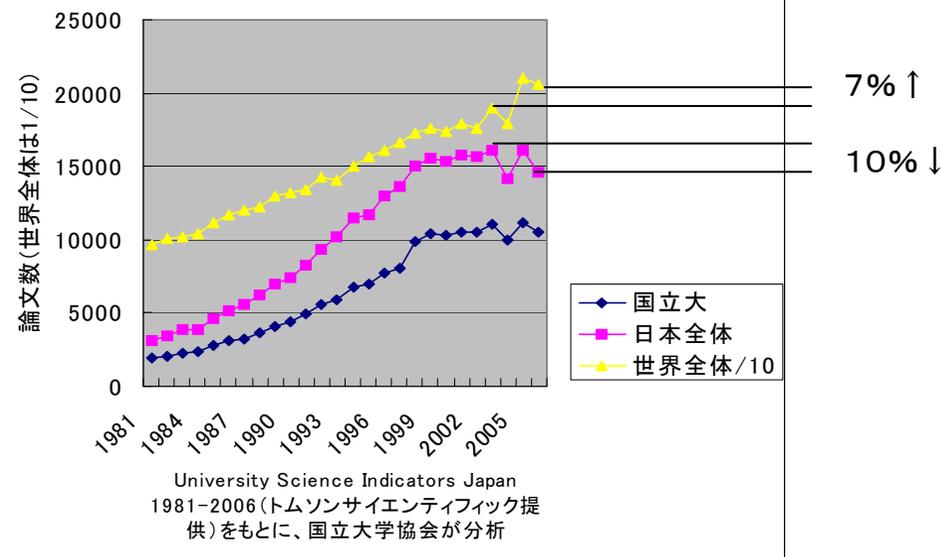


### 研究時間



- 附属病院の教員は、教育時間は減少、診療時間は増加、研究時間は減少と感じる割合が多い
- 平成15年から18年にかけて、世界全体の論文数が7%増えたにも係わらず、日本全体では10%低下

臨床医学論文数の推移



### 臨床医学研究の国際競争力

(出典) 国立大学協会「国立大学附属病院の経営問題に関する第4次アンケート」

### 国立大学附属病院における教育、診療、研究時間の推移

(出典) 国立大学協会「国立大学附属病院の経営問題に関する第4次アンケート」 10